

「ハイイロゴケグモ」にご注意ください！



● ハイイロゴケグモは、

オーストラリア原産の毒グモです。

外来生物法に基づく特定外来生物に指定され、飼養、保管、運搬、放出、輸入などが原則として禁止されています。

● 特徴 □メス 7mm ~10mm

□オス 4mm ~ 5mm

□体の色は全体的に茶褐色
(黒色、白色の個体もいる)

□背中に2~3対の黒い斑紋

□腹部に砂時計型の赤い模様

□脚は細長く茶色と黒色が交互に連なる

● 毒を持つのはメスのみ

**宮崎市、日南市、日向市、高鍋町で
生息が確認されている外国産の毒グモです。
生息域が拡大している可能性があります。**

○ 人体への影響

・刺咬されることにより、局所の疼痛、激痛、患部の膨張、発汗、発熱、頭痛、脱力等の症状が生じる。

○ 咬まれたら

・速やかに医療機関を受診してください。

○ 駆除の方法

・家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）や熱湯をかける、靴で踏みつぶす等で駆除できます。

※ 注意

ハイイロゴケグモの卵のうは家庭用殺虫剤が効かない場合があります。
卵のうを見つけたら、踏みつぶす等によって、確実に駆除してください。

見つけたらお知らせください！

お問合せ先：宮崎県自然環境課自然公園担当

Tel 0985-44-2624 E-mail shizen@pref.miyazaki.lg.jp

ハイイロゴケグモの見分け方

	背面	腹面
通常型	<p>通常型</p> <p>2~3対の斑紋</p> 	<p>脚は黒色と茶色が交互に連なる</p> <p>腹部は球型</p> 
黒化型	<p>黒化型</p> <p>黒色が濃く斑紋が見えない</p> 	<p>砂時計型の赤い模様</p> 

生育する場所のポイント

- ・人の膝丈までの高さ（地上から約30cm程度）で屋外の風雨にさらされにくい場所に営巣する傾向がある。
- ・卵のうの近くの隙間に隠れていることが多いが、殺虫スプレーを隙間に噴射することで、追い出すことが可能。

※生息場所の一例

- ・屋外消火栓ボックス内
- ・放置された車両の裏
- ・グレーチング
- ・排水溝
- ・屋外コンセント
- ・窓枠
- ・建物外壁の隙間（断熱用の構造）など



消火栓設備内



電源ボックス内

類似のクモ類

特定外来生物 セアカゴケグモ	外来生物 クロガケジグモ
 <ul style="list-style-type: none"> ・背面に赤い縦帯がある ・体長は0.7~10mm ・平成24年に宮崎市で初確認（1例のみ） 	 <ul style="list-style-type: none"> ・赤い斑紋を持たない ・体長は10~15mm ・県内の一部地域で確認されている



駆除する

ハイイロゴケグモと同じく、外国産の毒グモです。
 ※ セアカゴケグモと思われるクモを発見した場合もお知らせください。